

# IASB の動向 (2016年2月～2016年4月)

ASBJ 研究員 谷 智之  
たに ともゆき

## I. 基準等の公表

IASB が、収益の基準を明確化する修正を公表  
(2016年4月12日)

国際会計基準審議会 (IASB) は、IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」(以下「収益基準」という。)の修正を公表した。公表された修正は、いくつかの要求事項を明確化するとともに、収益基準を導入中の企業のために経過的な救済措置を追加している。

2014年に公表された収益基準に対する今回の修正は、当該基準の基本原則を変更するものではなく、それらの原則をどのように適用すべきなのかを明確化するものである。これらは移行リソース・グループ<sup>1</sup>での議論を通じて修正に至ったものであり、次のことが明確化されている。

- 契約中の履行義務 (財又はサービスを顧客に移転する約束) の識別方法
- 企業が本人 (財又はサービスの提供者) なのか代理人 (財又はサービスが提供されるよう手配する責任を有する者) なのかの判定方法
- ライセンス供与から生じる収益の認識を、一

時点で行うべきなのか、一定期間にわたり行うべきなのかの判定方法

これらの明確化に加えて、公表された修正には、企業が新基準を最初に適用する際のコストと複雑性を低減する2つの追加の救済措置が盛り込まれている。

本修正は、収益基準の発効日と同じく2018年1月1日に発効する。

## II. IFRS財団関連のプレスリリース

1. Hans Hoogervorst氏がIASB議長に再任、Ian Mackintosh氏は初回任期満了時に副議長を退任へ (2016年2月12日)

IASBの監督と統治機関であるIFRS財団の評議員会は、Hans Hoogervorst氏をIASB議長として再任したこと (2期目:2016年7月1日から5年間の任期) を発表した。同時に、評議員会は、Ian Mackintosh氏が2期目を務めない意向を示し、1期目の任期が満了する2016年6月30日にIASB副議長を退任することを発表した。

Hans Hoogervorst氏とIan Mackintosh氏の

1 企業の新しい収益基準導入を支援することを目的として、IASBと米国財務会計基準審議会 (FASB) は、移行リソース・グループ (Transition Resource Group) を共同で組成している。

リーダーシップのもと、IASB は財務報告の品質を大幅に強化した。これには、IFRS 第 9 号「金融商品」、IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」、最近の IFRS 第 16 号「リース」の最終化などがある。同じ期間に、IFRS 基準及び IFRS for SMEs（中小企業向け IFRS）を適用する国の数の大幅な増大があり、EU や他の法域による IFRS 基準の使用に関する肯定的評価もあった。

さらに IASB では、この期間にいくつかの重要な革新や取組みも導入された。これには、世界中での IFRS 基準の使用に関して正確で信頼性のある情報を提供するための大規模なリサーチ・プロジェクト、「財務報告における投資家」プログラムの導入の成功、新しいミッション・ステートメントなどがある。

IFRS 財団は現在、体制とその有効性に関するレビューを行っており、IASB は今後 5 年間のアジェンダのレビューを行っている。これらのレビューでは、IASB の構成及び規模の変更の可能性と今後数年の作業を検討している。その中で、Mackintosh 氏は、自身が 2016 年に IASB を退任することを提案した。評議員会は、体制とその有効性に関するレビューを今後数か月のうちに議論する予定としている。

## 2. 鶯地隆継氏が IASB に再任され、Pat Finnegan 氏は 2016 年 6 月に退任へ（2016 年 2 月 23 日）

IFRS 財団の評議員会は、鶯地隆継氏の 2 期目（3 年間の任期）の再任と、Pat Finnegan 氏の退任を発表した。当該再任及び退任は、ともに 2016 年 6 月 30 日に発効される。

鶯地氏は 2011 年 7 月に最初に IASB のメンバーに就任した。同氏は、過去に住友商事株式会社（現 住友グループ）のフィナンシャルリソースズグループ長補佐を務めるとともに、IFRS 解釈指針委員会のメンバーを務めていた。2 期目の任期は 2019 年 6 月 30 日に満了となる。

Finnegan 氏は 2009 年 7 月に IASB のメンバーに就任した。過去には、CFA 協会金融市場インテグリティ・センターの財務報告ポリシー・グループのディレクターを務めるとともに、ムーディーズ・コーポレート・ファイナンス・グループの常務取締役を務めていた。2014 年 7 月に再任（2 期目）されたが、今般米国に戻る意向を示した。

今回の発表と、Hans Hoogervorst 氏の議長再任、及び Ian Mackintosh 氏の副議長退任に関する発表を反映した IASB の構成は、次のとおりとなる。

役 職	氏 名	選任枠	任期満了日
議長	Hans Hoogervorst 氏	全体	2 期目が 2021 年 6 月 30 日に終了
副議長	Ian Mackintosh 氏	アジア・オセアニア	2016 年 6 月 30 日に退任
メンバー	Steve Cooper 氏	欧州	2 期目が 2017 年 7 月 31 日に終了
〃	Philippe Danjou 氏	欧州	2 期目が 2016 年 10 月 31 日に終了
〃	Martin Edelmann 氏	欧州	1 期目が 2017 年 6 月 30 日に終了
〃	Pat Finnegan 氏	北米	2016 年 6 月 30 日に退任
〃	Amaro Gomes 氏	南米	2 期目が 2019 年 6 月 30 日に終了
〃	Gary Kabureck 氏	北米	1 期目が 2017 年 6 月 30 日に終了
〃	Sue Lloyd 氏	全体	1 期目が 2018 年 12 月 30 日に終了

〃	鷺地隆継氏	アジア・オセアニア	2期目が2019年6月30日に終了
〃	Darrel Scott氏	アフリカ	2期目が2018年6月30日に終了
〃	Chungwoo Suh氏	アジア・オセアニア	1期目が2017年6月30日に終了
〃	Mary Tokar氏	北米	1期目が2017年6月30日に終了
〃	Wei-Guo Zhang氏	アジア・オセアニア	2期目が2017年6月30日に終了

### 3. Guillermo Babatz 氏を IFRS 財団の評議員に任命 (2016年3月31日)

IFRS 財団の評議員会は、モニタリング・ボードの承認を受け、Guillermo Babatz 氏を IFRS 財団評議員に任命することを発表した。

同氏の任期は、2016年4月1日より3年間となり、さらに3年間延長可能である。

Babatz 氏は、Atik Capital, S. C. の Managing Partner (業務執行社員) であり、メキシコ銀行証券委員会の前委員長であった。

Babatz 氏はまた、メキシコ銀行証券委員会に務める以前は、メキシコの抵当金融業や担保業を行う、Sociedad Hipotecaria Federal (SHF) の CEO を務め、メキシコ財務省においてもさまざまな役割を担ってきた。同氏はまた、Scotiabank (BNS) の取締役を務め、Scotiabank (BNS) のメキシコの子会社である Scotiabank Inverlat において、2014年から取締役会の議長を務めている。Babatz 氏は、メキシコ自治工科大学 (ITAM) で経済学の学士を、ハーバード大学で経済学博士を取得している。

Babatz 氏の任命により、欠員となっている北米代表2名のうちの1名の枠が補充されることとなる。

### 4. IFRS 財団が、Matt Tilling 氏を教育活動のディレクターに任命 (2016年4月28日)

IFRS 財団は、Matt Tilling 氏を教育活動の新しいディレクターとして任命したことを公表した。同氏は、世界的に首尾一貫した IFRS 基

準及び IFRS for SMEs の適用のサポートにおいて IFRS 財団の重要な役割を担う、教育活動の取組みを担当する。

2016年及び以降の戦略的な計画の一部として、IFRS 財団は、各法域における新しく発行された IFRS の適用に積極的に関与することや、教育活動により幅広く取り組むことを通して、IFRS の首尾一貫した適用のサポートを継続する。

教育活動の新ディレクターである同氏は、Henry Rees 氏がディレクターを務める、新たに統合及び組成された、適用及びアドプション活動チームのメンバーとなる。なお、当該チームは、解釈・適用・アドプション支援・教育活動をカバーしている。

Tilling 氏は、過去5年間、西オーストラリアのパーズを拠点として、会計専門機関及び学術研究機関の両方に従事していた。同氏は、BDO のシニアマネージャーとして、カスタマイズされた専門的な開発プログラムの戦略的な開発及び配信や、チーム内及び外部クライアントに対する技術的な会計サポートの提供に取り組んでいた。また、オーストラリアのノートルダム大学において、上級講師兼会計プログラムの主任を務め、技術的な会計トピックの講義を行うとともに、開示に関連する論点のリサーチを行っていた。

Tilling 氏は、パーズに勤務する以前、オーストラリアの幾つかの大学で講師を務め、マレーシアにも勤務していた。同氏は、オーストラリアのアデレードにある Flinders 大学で会

計の商業学士を取得している。

### Ⅲ. IASB 会議、IFRS 解釈指針委員会

IASB の会議は、ロンドンの IASB 本部で以下のとおり開催された。

- 通常会議（2016 年 2 月 16 日～17 日）
- 通常会議（2016 年 3 月 15 日～16 日）
- 通常会議（2016 年 4 月 19 日～21 日）

また、IFRS 解釈指針委員会の会議は、2016 年 3 月 22 日にロンドンの IASB 本部で開催された（詳細については、本誌 109 頁の「IFRS 解釈指針委員会における最近の議論の状況」を参照いただきたい）。

### Ⅳ. その他の IASB 関連会議

- 2016 年 2 月 23 日～24 日 IFRS 諮問会議

(IFRS-AC) (ロンドン) (詳細については、本誌 114 頁の「IFRS-AC (2016 年 2 月) 出席報告」を参照いただきたい。)

- 2016 年 2 月 25 日 IASB の代表者と資本市場諮問委員会 (CMAC) との会議 (ロンドン) (詳細については、本誌 120 頁の「CMAC (2016 年 2 月) 出席報告」を参照いただきたい。)
- 2016 年 3 月 2 日 IASB の代表者と世界作成者フォーラム (GPF) との会議 (ロンドン) (詳細については、本誌 127 頁の「GPF (2016 年 3 月 2 日) 出席報告」を参照いただきたい。)
- 2016 年 4 月 7 日～8 日 会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) 会議 (ロンドン) (詳細については、本誌 86 頁の「2016 年 4 月開催 ASAF 会議報告」を参照いただきたい。)